

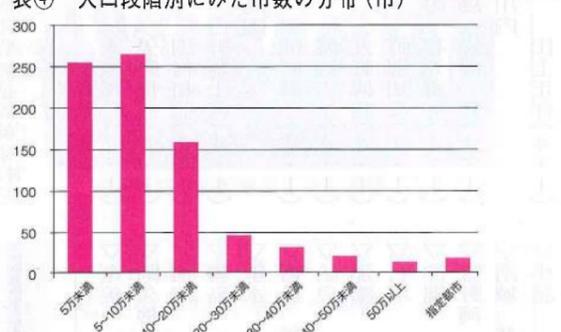
人口段階別の市数の分布をみると 5～10万未満が最多

表③

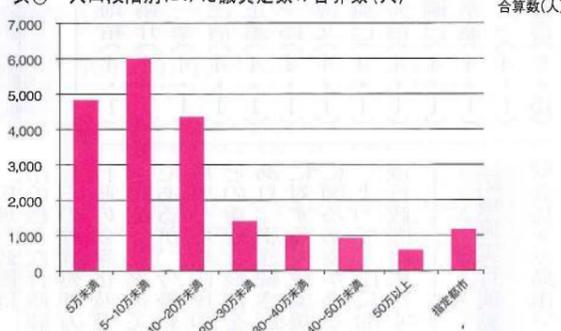
人口段階	市数の分布(市)	議員定数の合算数(人)	1市あたり平均(人)
5万未満	254	4,822	19.0
5～10万未満	265	6,013	22.7
10～20万未満	159	4,363	27.4
20～30万未満	44	1,433	32.6
30～40万未満	26	978	37.6
40～50万未満	21	875	41.7
50万以上	13	612	47.1
指定都市	19	1,168	61.5

※平成23年12月31日現在
※合併特例法を適用していない801市を対象に調査

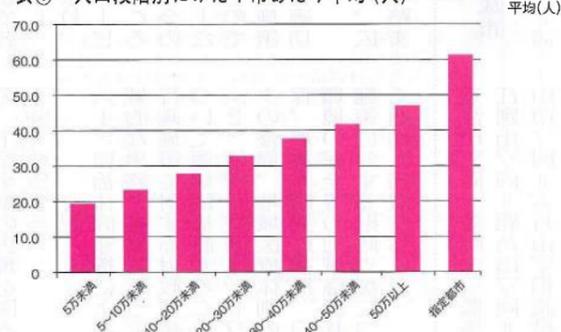
表④ 人口段階別にみた市数の分布(市)



表⑤ 人口段階別にみた議員定数の合算数(人)



表⑥ 人口段階別にみた1市あたり平均(人)



市議会議員実数の状況

区分	市数(市)	議員実数(人)	1市あたりの平均(人)
23年合計	809	20,356	25.2
22年合計	809	21,026	26.0
21年合計	806	21,315	26.4

※いずれの調査時点も12月31日現在

市議会議員定数の状況

区分	市数(市)	議員定数(人)	1市あたり平均(人)
23年合計	801	20,264	25.3
22年合計	774	19,983	25.8
21年合計	775	20,328	26.2

※いずれの調査時点も12月31日現在であり、合併特例法を適用していない市を対象に調査

議員実数1市平均で25・2人

本会が市議会議員の実数・定数を調査

全国市議会議長会はこのほど、「市議会議員定数に関する調査結果」を取りまとめた。この調査結果は、平成23年度12月31日現在における全国809市を対象に、オンライン調査による調査方法で、市議会議員の実数・定数の状況を取りまとめたもの。合併特例法を適用していない801市を中心に取りまとめている。回収市数は809市、回収率は100%。

本紙では2面から3面にわたり、調査結果を掲載する。このほか全国809市の市議会議員定数一覧など各市の詳しいデータは本会のホームページに掲載しており、調査結果は7月27日付で全市へ発送済み。なお、本会ではこのほか「市議会議員報酬に関する調査結果」も取りまとめており、近く調査結果の概要を掲載する予定。

全国「809市」の市議会議員の実数

平成23年12月31日現在の市議会議員の実数は2万356人となった。これは1市あたりの平均25・2人という結果である。前年の調査(平成22年12月31日現在)では、全国809市における議員実数は2万1026人、1市平均26・0人であった。

今回と前年の調査結果を比較すると、議員実数は670人減、1市あたりの平均議員数は0・8人の減少となった。

一昨年の調査結果(平成21年12月31日現在)と比較しても、議員実数は959人の減少という結果である。1市あたりの平均議員数も減少しており、21年12月31日時点の26・4人から1・2人の減少となった。

前年、一昨年の調査結果を並べたものが表①だが、年を追うごとに議員実数、1市あたり平均の議員数ともに、それぞれ減少していることが分かる。

市議会議員定数の状況

議員定数は1市平均25.3人

市議会議員定数において合併特例法を適用していない801市の市議会議員の定数は2万264人という結果。1市あたり平均25・3人となった。

平成22年では、1市あたり平均で25・8人であるため、今回の調査と比較すると、0・5人減という結果となっている。市議会議員の実数同様、前年、一昨年までの調査と比較すると、1市あたりの平均議員定数は減少している(表②参照)。

人口段階別にみた市数▽議員定数▽1市あたりの平均の結果は表③から表⑥のとおり。

人口段階別にみた市数では人口規模「5～10万人未満」の市が265市で最も多である。次いで「5万人未満」が254市、「10～20万人未満」が159市と続く。最少は人口規模「5万人未満」の市で19・0人という結果。1市あたりの平均は、人口規模が大きくなるに従い、増加する。

人口段階別にみた1市あたりの平均(人)は、1市あたりの市議会議員定数の平均は、「指定都市」が61・5人。次いで「50万人以上」の市が47・1人、「40～50万人未満」の市が41・7人と続く。最少は人口規模「5万人未満」の市で19・0人という結果。1市あたりの平均は、人口規模が大きくなるに従い、増加する。